

## 8-4-17 交通・安全専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 交通・安全専門委員会の開催

委員会開催回数：10回

(令和4年8月、令和5年3月は休会)

#### (2) 自主研究

令和4年度は、当専門委員会の基礎的かつ主軸となる「交通安全」「交通計画」をメインテーマとして設定し、交通・安全に関する技術向上と新たな市場開拓に向けて実施した。

自主研究はテーマ毎にワーキングを設置して進めた（【交通安全WG：交通安全に関する基本計画、基準類等および交通安全対策の取組事例に関する研究】、【交通計画WG：近年の交通計画手法等に関する研究】）。

【交通安全WG】では、交通安全に関する基本計画等と関連データ類、交通事故の要因分析・対策立案等の技術資料（基準類、文献等）、交通安全対策の取組事例について整理した。交通安全対策の取組事例については、幹線道路、生活道路、通学路や未就学児等移動経路を対象として、交通事故発生状況、対策実施状況等を整理するとともに、想定される課題や建設コンサルタントの役割をとりまとめた。

【交通計画WG】では、近年の交通調査手法、交通量推計手法、道路網計画、道路整備効果手法、TDM施策の変化に関する情報収集・整理等を行った。

#### (3) セミナーの開催

「これからの道路空間活用に関する取り組みと今後の展望」をメインテーマとして開催した。

a) 開催日：令和5年3月3日（金）

b) 開催方法：WEB開催（ZOOMによるオンライン開催）

c) 参加者数：141名

d) 講演①：国土交通省 道路局 環境安全・防災課 計画係長 番場様より「ほこみち（歩行者利便増進道路）制度と今後の展望について」として講演を頂いた。

e) 講演②：国土交通省 道路局 企画課 評価室 課長補佐 宮本様より「道路空間を活用した地域公共交通（BRT）等の導入に関するガイドラインについて」として講演を頂いた。

#### (4) 現地見学会の開催（未実施）

自主研究テーマに関連して、現地見学会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染の影響等により開催を見送った。

#### (5) 最新関連情報の収集

交通・安全に関わるトピック的な事項について、今後の展開方向、建設コンサルタントとしての関わりなどを議論した。令和4年度における主な内容は以下のとおりである。

a) 地域課題解決のための人流データ利活用の手引きについて

b) 高速道路等における大型車の駐車スペース拡充の動向

c) xROADの取り組み状況

d) 多様なニーズに応える道路のガイドラインについて

e) 情報通信技術利活用コミュニティサイクルの導入状況 等

#### (6) 外部組織への活動支援等

a) 国交省大学 道路交通安全〔事故対策コース〕への講師派遣

### 2. 次年度の活動について

令和5年度においても、交通・安全分野に関するテーマを設定し（自主研究テーマ検討中）、建設コンサルタントの関わり方について検討する予定である。また、研究テーマの内容に合わせてセミナー、現地見学会、フィールドワーク等を実施する予定である。

(交通・安全専門委員会委員長 福島 賢一)